

釧路工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	日本語
科目基礎情報						
科目番号	0051		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学分野		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	配布プリント					
担当教員	加藤 岳人					
到達目標						
文芸作品を除く一般的な日本語について、基本的な漢字の読み書き・解釈ができ、正しい発音で口頭の意味疎通ができる。文章表現については、日本語の特性を理解して自分の考えを述べることができる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 発音		正しい子音と母音を組み合わせ、発音でき、確実に相手に伝えることができる。	ほぼ正しく相手に伝えることができる。	正しく聞き取ることができない発音である。		
評価項目2 文字を正しく書く		漢字を含む文字を間違いなく書ける。	一部の漢字を除いて正しく書ける。	文字を正しく書けない。		
評価項目3 理解・表現		一般的に不足のない語彙をもち、正しく理解・表現できる。	一般的な文章をほぼ正しく理解し、表現できる。	一般的な日本語について理解できない。表現の内容が伝わらない。		
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A 学習・教育到達度目標 F 学習・教育到達度目標 G						
教育方法等						
概要	必要な漢字と語彙について読解を通して学び、その過程で聞き取り、発音についても総合的に学ぶ。また、日本の文化、生活習慣についても理解を深める。テキストは配布プリントで、日本国内の出来事、日本文化、国際関係などを中心とする。					
授業の進め方・方法	プリント類の音読・読解・質疑応答、または問題演習を中心とし、必要に応じてスピーチや作文の課題を与える。期末試験に加え、授業中に漢字などの小テストを行う。また、発音や聞き取りの評価は授業内で行う。					
注意点	言語の習得には積極的な態度が必要である。どんどん質問し、理解を深めよう。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	口頭の自己紹介、基本的な発音・聞き取りのチェック	正しい発音がわかる。ある程度の聞き取りができる。		
		2週	文章による自己紹介、読解の基礎	正しい文字がわかる。理解していなかった語彙・語法について理解できる。		
		3週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。		
		4週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。		
		5週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。		
		6週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。		
		7週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。		
		8週	問題演習	問題の意図を理解し、正しい答えにたどり着くことができる。		
	2ndQ	9週	スピーチ	正しい発音で、わかりやすく話すことができる。		
		10週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。		
		11週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。		
		12週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。		
		13週	問題演習	問題の意図を理解し、正しい答えにたどり着くことができる。		
		14週	問題演習	問題の意図を理解し、正しい答えにたどり着くことができる。		
		15週	問題演習	問題の意図を理解し、正しい答えにたどり着くことができる。		
		16週	前期末試験	問題の意図を理解し、正しい答えにたどり着くことができる。		
後期	3rdQ	1週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。		
		2週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。		
		3週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。		

		4週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。
		5週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。
		6週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。
		7週	問題演習	問題の意図を理解し、正しい答えにたどり着くことができる。
		8週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。
	4thQ	9週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。
		10週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。
		11週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。
		12週	文章読解	正しい文字、理解していなかった語彙・語法について理解できる。
		13週	問題演習	問題の意図を理解し、正しい答えにたどり着くことができる。
		14週	問題演習	問題の意図を理解し、正しい答えにたどり着くことができる。
		15週	問題演習	問題の意図を理解し、正しい答えにたどり着くことができる。
		16週	後期末試験	問題の意図を理解し、正しい答えにたどり着くことができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前1
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるすることができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	90	0	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0